

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	心の相談事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	01	02	01
05								
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	障害者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	増田 恒夫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住の精神的な病気又はその疑いで悩んでいる本人及び家族	意図	精神的な病気の早期発見や早期治療につなげ、これらの悩みや不安の解消もしくは軽減されるようにする。
事業内容	精神的な病気の疑いのある者やその家族を対象に専門医による相談事業を実施し、市民の心身の健康づくりを支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成14年4月に精神保健に係る事務事業が県から移管され、それまで保健所が行っていた業務を市で行うこととなった。それまでは身近な相談窓口が分かりにくく相談しにくい状況があった。平成14年5月より、障害者支援課内に相談室を設け専門医による相談を開始。広報、パンフレット等による周知により相談件数も増加傾向である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	相談者数	29	34	42	人	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 精神科医と市精神保健福祉士が相談に応じる。予約制。 原則毎月2回、第2、第4木曜日13時30分～16時30分で実施。 ・アルコール依存に関する相談 年4回（6、10、12、3月の第1木曜日）
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,482,680	1,606,240	1,550,520			
事業費(b)(円)		446,400	545,600	545,600			
うち一般財源		446,400	545,600	545,600			
職員給与費(c)(円)		1,036,280	1,060,640	1,004,920			
人役・職員(人)		0.14	0.14	0.14			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	心の相談事業の周知を図り、利用者を拡大する。	③取り組みの課題	アルコール依存症に関する相談件数が少ない傾向にあり、広報やホームページで周知していく必要がある。
②今年度(H24)に実施した取り組み	市保健センター職員からの関係機関等についても、相談対象として含め、利用についての働きかけを行い、利用の促進を図った。	④今後の改善計画	広報、ホームページを利用し、アルコール依存症に関する相談日も含めて掲載し、周知と利用の促進を図っていく。